

水戸市議会報

令和8年

6月定例会

No. 256

2026年8月1日号



くれふしの里古墳公園がリニューアルオープン！
二次元コードをチェック！



定例会あらまし



↑二次元コードを読み込むと、詳細をご覧ください。

会期

6月1日から16日までの16日間

議員質問

- ・代表質問5名(4～6ページ参照)
- ・一般質問19名(6～11ページ参照)

委員会付託議案

- (1) 各常任委員会における議案等の審査
- (2) 各常任委員長による委員会審査の経過及び結果の報告(3ページ参照)
- (3) 討論 反対1名
- (4) 採決 原案のとおり可決、承認

人事案件

- ・市長提出の人事案件25件を同意
- 固定資産評価審査委員会委員 1件
- 農業委員会委員 24件

意見書

- ・議員提出の意見書3件を可決(3ページ参照)

請願・陳情

- (1) 建設企業委員長、産業消防委員長による陳情審査結果の報告
- (2) 令和6年陳情第3号を不採択、令和7年陳情第9号を採択(3ページ参照)
- (3) 請願・陳情の閉会中継続審査を決定

議員派遣

- ・先進都市調査のため議員派遣を決定

閉会中所管事務調査

- ・各常任委員会等の閉会中所管事務調査を決定



本会議の様子

永年勤続議員

表彰及び感謝状

全国及び茨城県の市議会議長会から、1名の議員が永年勤続議員として表彰されました。
また、全国市議会議長会から、理事の職を務めたことに対し、議長のほか2名の議員に感謝状が贈られました。

表彰

全国・茨城県市議会議長会
議員在職15年以上

大津 亮一

感謝状

全国・茨城県市議会議長会
正副議長在職4年以上

大津 亮一

全国市議会議長会理事

大津 亮一
松本 勝久
袴塚 孝雄

くれふしの里古墳公園は こんなところ

住所・アクセス

牛伏町201番地2

(国道50号中原交差点を城里町方面に約1.4キロメートル進み、入口の馬形埴輪の看板を左折)

駐車場

普通車24台、大型車3台

特徴

- ・巨大埴輪「はに丸タワー」(高さ17・3メートル)の上からは景色が楽しめるほか、春はお花見スポットとして人気です。
- ・県内有数の古墳密集地帯であり、計16基の古墳があります。



公園のシンボル「はに丸タワー」

可決した議案



【議案第59号 駐車場条例の一部改正】

五軒町立体駐車場に定期駐車を導入

新たに定期駐車の使用区分を追加します。

使用料(月額)	普通定期駐車	平日定期駐車
	14,000円	9,000円

Q 五軒町立体駐車場って？

A 水戸芸術館の東側にあります。水戸のまちなかを訪れる際に、ぜひご利用ください。



【議案第62号 いじめ問題対策連絡協議会等の設置に関する条例の一部改正】

いじめ問題調査委員会の委員数の上限を10人から15人に
重大事態が複数同時に発生した場合でも迅速かつ着実に調査を実施するため、調査委員会の組織を見直すものです。

Q 調査委員会って？

A いじめ防止対策推進法に基づき、重大事態に係る事実関係等に関する調査・審議を行います。



可決した意見書



次の意見書を国会・関係行政庁に提出しました。

- 1 燃料価格高騰及び資材不足等による地域経済と市民生活への影響に対する対策強化を求める意見書
- 2 全てのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書
- 3 ドナーミルクの利用拡大を求める意見書

陳情の結果



【採 択】 令和7年陳情第9号

中心市街地の賑わいと活力の向上に資する市街地再開発事業への支援を求める陳情

市長に送付し、その処理の経過及び結果の報告を求めることとした。

【不採択】 令和6年陳情第3号

「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」の提出を求める陳情

願意に沿いがたく不採択とした。

▼常任委員会

建設企業委員会



駐車場条例の一部改正

主な質疑 前年度の稼働実績及び指定管理料、定期駐車の導入台数、月額使用料の算定根拠及び収入見込み、導入後の区画の考え方及び満車時の対応など

主な意見 (1)近隣の駐車場事業者に向けて改正内容を説明されたい。(2)市民会館利用者が五軒町立体駐車場を多く利用するような仕組みづくりを検討されたい。

賛成多数

文教福祉委員会



いじめ問題対策連絡協議会等の設置に関する条例の一部改正

主な質疑 委員の構成や重大事態の発生状況など

主な意見 重大事態が発生している状況に鑑み、引き続き、学校との連携を十分に図りながら、迅速に対応されたい。また、重大事態に発展しないよう、いじめの早期発見、早期対応に努められたい。

全会一致 賛成

産業消防委員会



閉会中所管事務調査について

今定例会において付託された議案等がなかったため、閉会中所管事務調査について議論を行いました。

なお、6月1日に当委員会から市長に提言書を提出しました。(11ページ参照)

総務環境委員会



地方活力向上地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

主な質疑 制度の適用状況や周知方法など

主な意見 (1)地域経済の活性化につながるよう、引き続き企業等に対する情報発信に努められたい。(2)ターゲットを明確にして、制度の周知に取り組まれたい。

賛成多数



魁、水戸



わたしたち
の健康

こども・子育て支援の 今後の展望について

Q これまでの施策に加え、どのようなこども・子育て施策に取り組んでいくのか。今後の展望を伺う。

A 子育て世帯の経済的負担の軽減拡大に向けて、市民が真に必要とする支援を検討する。子どもの遊び場や居場所づくりについても、民間とも連携しながら充実を図る。子育て世帯が安心して暮らすことができるまちを実現するためには、行政、市民、事業者等が一丸となり、まち全体で子どもたちを育んでいくことが重要であり、本市独自の子ども権利に関する条例制定に向けた取組を進める。

条例では、子どもに保障される権利を明らかにし、その権利を市全体で守っていくとともに、子どもたちを育む意識を共有して、寛容な心で子どもたちの成長を見守り、健全な成長を後押しする姿勢を力強く打ち出していく。

自流水の活用による千波湖の水質浄化・アオコ抑制策について

Q 千波湖に、きれいな水と緑と空気があってこそ、市民がより愛着を持てる憩いの場となる。千波湖導

水事業における試験通水に加え、自流水の活用について、どのような対応を行っているのか伺う。

A 市で取り組んでいる逆川緑地の湧き水流入時間の延長や、見川調節池周辺の湧き水活用など、霞ヶ浦導水事業による千波湖への導水を補う手法について、専門家や河川管理者等の意見を踏まえながら、調査・検討を進める必要がある。専門家からは、アオコの発生要因が、那珂川・桜川よりこれらの湧き水に多く含まれているという指摘をいただいている。今年度から新たに逆川緑地の湧き水の水質調査を行い、湧き水の活用による効果や課題を検証する。



千波湖に昇る朝日

その他の質問

- 公設地方卸売市場の魅力を高めるための活性化策は
- AIが政策立案や意思決定のプロセスに及ぼす影響は
- 一般質問への一問一答方式導入についての所感

政和維新



あんそう
の栄

消防学校跡地を活用した 武道館の建設を

武道館の建設を

Q 市内武道8団体からの請願を全会一致で採択して以来、ようやく武道館の整備検討が総合計画に位置付けられた。市営の武道施設がない県庁所在地は、水戸だけである。千波湖南側消防学校跡地を有効活用した、武道館のグランドデザインを描き、まずは弓道場を建設すべきと考える。見解を伺う。

A 本市では、選択と集中の考えの下、こども・子育て支援等のソフト事業に財源を重点的に配分している。武道施設は、優先順位から前期基本計画期間中の着手が困難と判断し、「整備の検討」にとどめている。整備を進めることとした場合は、施設の規模や財源の確保等が課題となるほか、市有体育施設や県立武道館等において、多くの大会が開催されている状況等も考える必要がある。後期基本計画策定の中で、課題も含め、整備の可能性を検討する。

新県立病院整備に伴う 周辺のまちづくり構想は

周辺のまちづくり構想は

Q 新県立病院整備は、特に内原地区の将来像に影響を与える。都市計

A 画の土地利用等においても重要な要素となり、地域全体の質を高める役割を担うものと考えている。周辺の交通やまちづくりについて、市の見解を伺う。

新県立病院の整備により、内原駅周辺地区の利便性が高く、暮らしやすい拠点となることが重要である。まずは、内原駅からのルートや交通手段について、県と連携を図りながら情報収集を行い、効果的な施策を構築する。特に交通手段は、交通弱者の方を含め、誰もがアクセスしやすいものにするため、新しい交通システムの導入等、先進的な取組を検討する。地域の意見を伺い、病院と居住誘導区域を新しい交通手段で結びつけた、理想的なまちづくりを進める。



内原駅南口

その他の質問

- つくば市に人口を逆転された今後の対応は
- 未利用財産の現状と処分状況は
- クラウドファンディングの実績と今後の活用は
- 公共施設使用料設定の考え方と今後の予定は
- 食農教育の現状と課題、今後の在り方は



公明党 水戸市議会



たじり
田尻
由紀子

**市民が安心して移動できる
交通体系の実現を**

Q 住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるためには、地域公共交通を単なる移動手段ではなく、生活基盤を支える社会インフラとして位置付けることが重要である。各交通施策の役割を明確にし、地域全体の交通体系を一体的に機能させる持続可能な交通ネットワークへと再構築すべきと考える。地域公共交通の将来像と今後の具体的な取組について、見解を伺う。

A 将来にわたり安心して暮らすことのできる基盤づくりに向け、「利用しやすい公共交通」、「公共交通の維持・確保」、「人と環境にやさしい公共交通」を基本方針に掲げて取り組んでいる。今後も交通需要に



適切に対応するため、多様な主体との共創等を強化し、路線バスを中心とした利便性や持続可能性の高い地域公共交通ネットワークの構築に努める。

**市民サービス向上のための
「おくやみ窓口」設置を**

Q 大切な方を亡くした直後の多岐にわたる行政手続は、精神的・身体的に大きな負担となる。庁内横断的に情報連携を行い、遺族に寄り添いながら、必要な手続きを一括して案内する体制づくりが重要である。遺族の負担軽減や市民サービス向上の観点から、ワンストップ型の「おくやみ窓口」を早期に設置すべきと考える。見解を伺う。

A 行政手続の在り方等の見直しを図り、デジタル市役所の実現により市民サービス向上を目指す。死亡後に必要となる各種手続は、オンライン申請対象手続の拡充や、複数の窓口をつなぐシステムの構築等、デジタル技術を活用することで「おくやみ窓口」設置と同等以上の効果が得られると考える。課題解決に向け、デジタル技術を積極的に取り入れた本市独自の手法を検討する。

その他の質問

- 女性のライフステージに応じた健康づくりについて
- ・フェムテックの活用推進を
- ・プレコンセプションケアの推進を
- いじめでも通園制度の利用実態と運用の課題は
- 小中学校及び義務教育学校における安全対策は

日本共産党 水戸市議会



たなか
田中
真己

**物価高騰・資材不足に係る
相談窓口設置と独自の支援策を**

Q 中東情勢の悪化により、物価高騰と資材不足が深刻さを増している。特に、石油を原料としたナフサ由来の製品が入手困難となり、市内の建設業者、医療現場等から悲痛な声を聞く。対策は待ったなしの状況であり、(1)市内の中小事業者や医療機関等の実態調査と相談窓口の設置を実施すべきだ。(2)影響を強く受ける事業者に対し、緊急融資の創設や燃料費への助成など、市独自の支援策を求める。

A (1)産業活性化コーディネーターによる伴走型支援の中で、きめ細かな相談対応と課題解決に向けた支援を行うほか、県よろず支援拠点と連携し、無料の経営相談会を実施する。(2)国の支援メニューの情報を行き届かせることに注力し、事業者が個々のニーズに応じた必要な支援を受けられるよう努める。

**高齢者の移動支援策について
思い切った拡充と改善を**

Q 市は、郊外部の11地区で水都タクシーを運行しているが、それ以外の地区には支援策がなく、免許返納者への対応もない。5月の特別

委員会で市が発表した新たな高齢者の移動支援策は、市民要望に添えられるものに全くなっていない。

A ①バス定期券の補助は、75歳以上ではなく65歳以上から対象にすること、②タクシー券の補助は、所得制限や介護認定に関わらず、65歳以上の全高齢者を対象にすることを求める。また、障がい者へのタクシー券は、1回に2枚までという支給制限をなくすべきだ。必要な予算を確保した上で、これらの拡充と改善を求めるがどうか。

財政負担や事業の持続性を十分考慮した上で、社会実験としてスタートし、課題等を検証しながら、必要に応じて見直しを行う。また、財源確保に向け、既存事業の見直しと民間活力の活用にも取り組む。



その他の質問

- 東海第一原子力発電所について
- ・データ捏造疑惑の解明のため調査実施の要求を
- ・広域避難は不可能であり再稼働反対の表明を
- 小中学校の教員体制の拡充について
- ・市独自の加配教員の拡充と時間外勤務の削減を



水戸みらい



郷土に誇りを持てる

子どもたちの育成を

Q 市内には、弘道館や偕楽園をはじめとする歴史的資源や、世界に誇れる芸術館等、魅力ある資源が数多くある。郷土への誇りと愛着を深めることは、未来の水戸を担う人材の育成につながる。特色ある教育の一つに、郷土を愛し、豊かな感性を磨く教育「キャリアプラン」を掲げており、歴史的資源を最大限に活用した学びや、様々な芸術に触れる機会の提供を学校教育で実践することは大変重要と考える。水戸芸術館を活用した新たな体験活動等、今後の取組について伺う。

A 郷土水戸の特色ある教育内容を体系化した本市独自のカリキュラム「水戸まごころタイム」において、発達段階や地域性等を考慮しながら、郷土愛を育む教育を推進している。弘道館の施設見学や職員による出前授業、連携交流都市である文京区との連携、光圀公生誕四百年を契機とした取組等を展開する。また、今年度、音楽と美術を一体化した「子ども芸術の祭典」を水戸芸術館で開催する予定であり、今後子どもたちが郷土に誇りを持てる教育の充実に努める。

プロスポーツチームと連携したまちづくりの推進を

プロスポーツチームと連携したまちづくりの推進を

Q 水戸ホーリーホックのJ1昇格と茨城ロボッツのBプレミア参入を契機に、両クラブと市の連携事業「MITO BLUE PRIDE」をさらに強化し、シティドレッシング※1や選手との交流を進め、スポーツのまち・水戸としての魅力発信と、応援する機運の醸成を図るべきと考える。今後の展開は。

A 議員提案は有効な手段と認識しており、両クラブ共通の統一デザインによる広報資料の製作等について協議を進めている。市民と選手との交流機会の創出に努めつつ、三者による連携を強化し、シビックプライドの醸成に取り組む。



スポーツを通じて生まれる一体感

その他の質問

- 子ども・子育てDXの展開について
- ・子育て世代に寄り添ったデジタル化の推進を
- にぎわいと活力のある都市づくりについて
- ・若者の活躍や人流データ活用でにぎわいづくりを
- ・市街化調整区域の規制と都市計画の考え方は

▼一般質問

小児オンライン医療相談・オンライン診療の体制は



Q 7月1日から小児オンライン医療相談・オンライン診療が始まる。(1)事業内容、(2)準備の進捗状況、(3)利用見込み数、(4)周知方法を伺う。

A (1)オンライン医療相談は、スマホ等によるテキストチャットで問診を行い、医師のアドバイスが受けられる。0歳～中学3年生の市民を対象に24時間365日実施する。オンライン診療は、スマホ等からビデオ通話で受診できる。利用時間は平日・土曜18～21時半、日曜・祝日9～13時・14～21時半。薬の処方がある場合は市休日夜間緊急診療所で受け取れる。(2)事業者と契約し、手順等を調整している。(3)オンライン医療相談は月330件、オンライン診療は月1000件程度。(4)市HPや広報紙など、あらゆる機会を捉えて周知に努める。



登録方法等を記載したチラシ

その他の質問

- 危険街路灯撤去補助金制度の対象拡大を
- 中大野中河内線(松が丘工区)への街路灯増設を
- 地域クラブの開始に伴う安全管理・対策は

くれふしの里古墳公園の快適性向上策は



Q リニューアル後、連日にぎわう当公園では、基本的な衛生・健康インフラが不足しており、改善を求める声を多く聞いている。トイレ洋式化、おむつ替えスペース整備、熱中症対策としての給水環境改善について、具体的な整備予定を伺う。

A 開園当初に整備した和式トイレや、水分補給の設備の未整備など、時代に即した対応が十分になされていない状況である。公園を安全、快適に利用いただくためにも、これらの環境整備は喫緊かつ重要な課題である。現在、既存トイレの洋式化や、おむつ替えスペースの早期設置に向けた検討を進めており、水分補給については、自動販売機の設置を検討している。今後とも、愛される公園を目指し、利用環境の向上に努める。



子どもたちでにぎわうくれふしの里古墳公園

その他の質問

- 作業効率化・スマート農業導入など大規模農家への支援は
- 物価・資材高騰に対する農家への緊急的な負担軽減は
- くれふしの里古墳公園と周辺の歴史遺産との連携は

※1 シティドレッシング(City Dressing)…イベント開催時などに、街路・公共の空間・商業エリアなどを装飾し、まち全体を一つの演出された空間として見る装飾手法のこと。



物価高騰で圧迫される市民生活(イメージ)

その他の質問

- マイナ保険証について
 - ・従来の健康保険証の復活を
 - ・全ての後期高齢者に資格確認書の送付を



水戸協同病院

その他の質問

- 学校徴収金徴収システム導入の支援を
- 地域資源としての水戸納豆の位置付けと今後の発信は



指定避難所(飯富中学校)に集まった避難者の自家用車

その他の質問

- CAPプログラム(子どもへの暴力防止プログラム)の推進を
- ・教職員向けワークショップの導入促進は
- 大塚池の水質改善は



その他の質問

- 市長や副市長が法令違反等をした場合の対応は
- 市職員懲戒審査委員会の過去の開催状況は
- 職務専念義務違反があった場合の市の処置は

市民の暮らしを守る
物価高騰対策と熱中症対策を

中庭
由美子

Q 物価高騰が長引く中、国は夏季の電気・ガス料金の負担を軽減するための



補正予算を措置したが、市民からは全く足りないとの声を聞く。(1)品川区は6～9月に1世帯当たり月千円を補助するとしており、本市も独自に光熱費への補助を実施すべきだ。(2)近年の夏は命に関わる酷暑であり、エアコンを持たない方が夜間に熱中症で搬送されている。今年度、県内12市町村がエアコン購入費の補助を予定しており、本市も同様にすべきだ。(3)水道の基本料金の2か月間免除を実施するが、厳しい市民生活を踏まえ、更なる対策が必要ではないか。

A

- (1) 国において行うべきと考える。
- (2) 多くのフリーングシェルターを開放しており、積極的に周知する。
- (3) 財政支援の継続を国に要望する。

水戸協同病院新病棟の建設と
周辺まちづくりは

渡辺
欽也

Q 新病棟建設着工が遅れ、説明がないまま10年が経過した。JA厚生連と今後どのような協議、確認を行い、建設実現に向け、取り組んでいくのか。また、設備の老朽化等による病院機能の安全性や医療従事者の勤務環境をどう把握し、地域医療の維持と周辺まちづくりを一体的に進めるのか伺う。



A 現在地での病院経営の継続等を確認し、早期の財務改善等を要請した。建て替え計画の早期進展で、病院機能の安全性向上や働きやすい環境づくりにつながると考える。周辺の道路整備の在り方についても、にぎわい創出等に向けた検討を進める。現在地での運営を継続し、地域の医療提供体制に資する建て替え計画を進めるよう、引き続き強く要請する。

災害時における本市の
車中泊避難者の受け入れ体制は

滑川
友理

Q これまでの災害でも繰り返し顕在化した車中泊避難の問題は、深刻な課題である。国は令和6年に在宅・車中泊避難者等の支援の手引きを公表し、自治体による支援の検討を求めている。本市も、民間事業者との車中泊を明示した協定の締結や、地域防災計画への位置付け、マニュアルの作成・周知などに取り組みべきだ。見解を伺う。



A 車中泊避難者への支援は喫緊の課題であり、国の手引きを踏まえた方策の検討を昨年度から開始した。民間施設等との協定の締結についても検討する。また、車中泊避難の適切な運用に向けて、9年度中に地域防災計画を改定し、位置付ける。あわせて、マニュアル作成や受入訓練の実施準備、リーフレットによる周知啓発の強化も図る。

市職員の服務規律に関する
研修状況と非遵行為への対応は

本
松久

Q 市職員は、他の模範となることが求められる。資質向上のため、どのような教育や研修を実施しているのか。また、法令等の違反が生じた際に審査を行う組織の構成と懲戒手続、処分公表の基準について伺う。



A 市職員の階層別に、求められる役割に応じた研修を実施しており、今後も意識改革と資質の向上に努める。懲戒処分の審査においては、副市長や教育長等が委員となる市職員分限懲戒等審査委員会を設置している。処分量定の決定は、非遵行為の動機や結果等を総合的に考慮した上で判断し、委員会の報告を基に各任命権者が処分等を行う。公表は、市職員の懲戒処分の公表基準を定めており、懲戒処分である免職、停職、減給または戒告について、公表している。



外国人の国保税滞納に 厳しい対応を！

いけだ
池田
悠紀

Q 本市における国民健康保険税滞納率は、日本人が約16%に対し、外国人が約35%、外国籍永住者が約30%となっている。収納率向上のため、宇都宮市など約30自治体が導入済みの協力要請制度を提案する。本制度は、①悪質な滞納者の情報を自治体が出入国在留管理局へ提供し、②在留資格更新時等に納税証明書を確認し、③提出がなければ在留を更新しないものである。導入自治体の中には、滞納者の3割が自主納付に応じた実績もあり、本市でも早期導入を求める。



Q 6月1日「電波の日」に、市が関東総合通信局長表彰を受賞した。要因は。



防災・減災につながる ラジオ活用について

マーサ
川又

A 本市では、災害時における無線放送の重要性を強く認識している。FMはるるんと連携し、令和5・6年度のいっせいで防災訓練に合わせ、臨時災害放送局の開局訓練を実施した。今回の表彰は、この実績に基づくものである。ラジオ放送による防災・減災対策の推進に多大な貢献をしたとの評価をいただいた。臨時災害放送局の開局に携わった実績が豊富なFMはるるんと連携し、無線従事者の確保や放送ノウハウの確立など、地方公共団体が抱えがちな課題を解消している。こうした平時からのコミュニティ放送局との緊密な連携について、高く評価いただいたのではないかと実感している。

Q (1)市民の思いを適切な支援制度につなげるため、遺贈寄附に関する一元的な相談体制の整備を。(2)終活支援の取組の中で、遺贈寄附を含む様々な選択肢の周知は。(3)寄附者の意思を尊重するため、使途指定型基金を創設すべき。見解を伺う。



終活支援として遺贈寄附※2を 選択できる環境の整備を

たかくら
高倉
富士男

A (1)他自治体の先進事例や関係団体との連携等について、調査研究を進める。(2)終活に関する便利帳の発行やセミナーを開催している。様々な機会でも、遺贈寄附を含めた多様な選択肢を紹介し、終活支援の充実に努める。(3)基金の創設について、他自治体の取組の調査研究を進めるとともに、ふるさと納税における寄付使途の指定制度にさらに項目を設けるなどの運用や、水戸黄門ふるさと基金等、既存の基金の活用も含めて検討する。

Q 茨井町の鹿島神社に隣接する新川の川べりの一部に傾きが見られる。同河川の整備状況について伺う。

A 鹿島橋付近や、鹿島橋の下流に位置する護岸の変状を確認しており、河川管理者である県に早期の修繕を働きかけていく。また、鹿島橋のもとで発生した、市が管理する雨水管吐口部の護岸損傷は、今年度に修繕工事を行う。

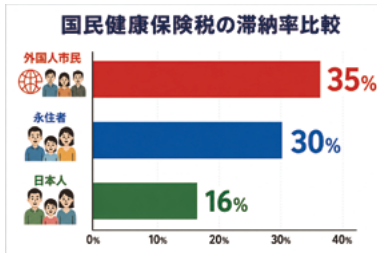
Q 東部公園に整備されたサッカー場へのアクセス数増による鹿島橋の健全性に問題はないか。

A 令和6年度に法定点検を実施し、予防保全段階に当たる健全性Ⅱと判定された。軽微なひび割れや摩耗が見られるが、橋の安全性や機能に影響がないことを指すため、今後も安全性を観察し、必要に応じて修繕に努める。

茨井町にある鹿島神社付近の 新川と鹿島橋の状況は

ふじさわ
藤澤
康彦

Q 本市における国民健康保険税滞納率比較



国保税滞納率を比較したグラフ

その他の質問

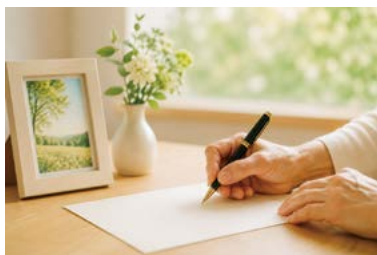
- 外国人の不法就労撲滅に努めるべき
- 学校行事こそ子どもの成長のため重視すべき
- 公共施設への太陽光パネル設置は慎重に



臨時災害放送局の開局訓練

その他の質問

- 子育て世代が安心して暮らせる環境整備を
- 若い世代に選ばれるまちづくりを



その他の質問

- 副業人材等の活用による地域課題解決と関係人口の創出は
- 本市における廃プラスチック処理の現状と課題は



新川にかかる鹿島橋と雨水管吐口部

その他の質問

- 市HPにおけるAIチャットボットの導入を
- 学校給食に関する児童生徒の満足度調査実施を
- ハローワーク水戸を誰もが利用しやすい環境に改善を

※2 遺贈寄附…亡くなった後、遺言などによって遺産の一部または全部をNPOや自治体などの公益団体に寄附する社会貢献の選択肢のひとつ。

東部公園の運営に伴う周辺地域の安全確保策は

佐藤 昭雄

Q 令和6年度に供用開始した東部公園サッカー場は、スポーツ振興の拠点として大変なにぎわいを見せている一方で、周辺の交通安全や道路環境への影響を懸念する声がある。

(1) 具体的な安全確保策を伺う。
(2) 国道6号からの進入路整備が必要と考えており、見解を伺う。



A (1) 進入経路が課題になっていると認識している。現在の対策として、市HPで公開中のアクセス案内に加え、サッカーグラウンドを予約いただいた利用者に対し、詳細な注意事項を記載した来園案内図を電子メールで送付している。さらに、周辺道路に案内看板を増設し、地域住民の安全を確保できるよう、適切な誘導に努める。(2) 課題があるため、より安全で円滑なアクセス方法について、検討を進める。



東部公園サッカー場

その他の質問

- 若者から選ばれる都市となるための魅力創出は
- 近隣自治体との将来的な広域合併に向けた取組は
- 若者を犯罪から守るための勤労観教育と防犯教育を

富士池活用で

下市の浸水対策を前へ

森 智子

Q 下市地区では、大雨のたびに備前堀の水位上昇や道路冠水を心配する声が多く寄せられている。令和8年度当初予算には、富士池浚渫・調整池整備実施設計等として9800万円が計上された。事業の内容と今後の見通しを伺う。



A 下市地区周辺では、局地的豪雨や宅地化に伴う雨水流量の増加による浸水被害が多発しており、「貯める」対策を取り入れた整備が不可欠である。基本設計の結果、既存の富士池を活用しつつ、新たな調整池を南側に整備する方針とした。今年度は詳細設計委託を実施する。富士池浚渫工事では、池の南側に堆積する土砂の除去を令和8・9年度に進める。これにより貯留能力が向上し、冠水被害の軽減が期待できると考える。



水位の上がった備前堀

その他の質問

- 「わくわくプロジェクト」の改善と活用を
- 会計年度任用職員の療養休暇制度改善を

国田地区の公共交通と

水都タクシーの利用は

土田 美代

Q (1) 国田地区で唯一のバス路線が、今年9月末で廃止されることになり、住民に不安が広がっている。公共交通がなくなる地域に対し、何らかの支援が必要だ。見解を伺う。(2) 水都タクシーの利用について、市内の通院はどこでも可能だが、市外の病院は地区ごとに限定されている。国立医療センターや県立中央病院等、利用者の多い病院にどの地区からも行けるよう拡大すべき。また、買い物利用も中心市街地まで行けるようにすべきでは。



A (1) 自治会や交通事業者等と連携し検討する。結論が得られるまでは水都タクシーの利用を呼びかける。(2) 交通結節点まで移動し、公共交通機関に乗り換えることが基本だ。既存の公共交通への影響も考慮し、慎重に検討すべきものである。



国田地区のバス停

その他の質問

- 老朽化し劣化している市道の安全対策と速やかな更新を
- 特別支援教育支援員の配置システム変更について見直しを
- 金管バンド等の廃部により使われていない楽器の有効活用を

千波公園を起点にした歩いて楽しめる都市空間づくりを

萩谷 一

Q 千波公園は、水戸の自然・歴史・文化・交流を象徴する重要な空間である。みと好文テラスのオープンに、更なる民間活力の活用と市民参加の促進を図ることで、千波湖、偕楽園、中心市街地等を面でつなぎ、歩いて楽しめる都市空間づくりを進めるべきではないか。また、若者や学生が挑戦できる場づくりや夜間景観づくり、水辺空間の活用等も重要である。見解を伺う。



A みと好文テラスは多くの来場者にぎわい、市の魅力向上の絶好の機会と捉える。楽しさや達成感を味わえる仕掛けが必要であり、夜間景観づくりも含めた議員提案は、有効な取組と認識している。千波公園・偕楽園月池にぎわい創出協議会や関連団体と連携し、歩いて楽しめる都市空間づくりに努める。



にぎわいを見せる「みと好文テラス」

その他の質問

- 千波湖のアオコ対策の進捗状況と効果は
- コウノトリが生息できる広域的な環境保全を
- あじさいまつりと光園公生誕四百年祭の連携を



水戸駅南口ロータリーの再整備
による利便性向上と安全確保を

黒木 勇

Q 県庁周辺など南部地域での宅地開発の進展等に伴い、水戸駅南口の利用者が増えているが、送迎車両の乗降スペースが少なく、朝と夕方の混雑が慢性化し、安全性や利便性が損なわれている。送迎車両がスムーズに乗り入れられ、安全に利用できるよう、再整備が必要と考える。早急な安全対策の実施と再整備に向けた計画の策定を強く求める。



A 重要な課題と認識しているが、再整備には専門的かつ高度な空間設計が求められる、多額の事業費も想定される。混雑状況を詳細に把握し、送迎車両の流入・流出パターンや滞在の要因を精査した上で、現在のロータリーの運用見直しによる改善の可能性を探りながら、関係機関等と綿密な調整を図る。安全対策についても実施する。



混み合う駅南口ロータリー(夕方)

その他の質問

- 駅南口バス乗り場へのベンチ増設と時計の設置を
- 子育て世帯に選ばれるまちづくりについて
- ・ 病児保育事業の充実と多様なニーズへの対応を

人間関係の希薄化による子どもたちへの影響と対応は

後藤 通子

Q 人間関係の希薄化は、学校内での問題を悪化させている要因の一つと考える。学校行事の縮小等による影響をどのように捉え、子どもたちの人間関係づくりに取り組んでいるか伺う。



A 地域社会との触れ合いの減少により、多様な人との関わり方が分からず、子どもたちが戸惑いを感じることに懸念している。学校では教育活動全体を通して、子ども同士のコミュニケーション能力の育成に努めている。また、地域の実情に応じた多様な活動を実践することで、地域と一体となって育成を図るとともに、地域と子どもたちの絆づくりを推進している。今後、地域の方々の参画の下、地域と学校が一体となった実効性のある取組の推進に努める。



その他の質問

- 自立の壁に直面する若者への支援は
- 市独自の教員の民間派遣研修の導入を
- (仮称)南部図書館に地域福祉向上のための機能を

客引き行為対策など、市民が不安なく往来し暮らせるまちづくりを

須田 浩和

Q (1)大工町Aーカメラの運用状況及び防犯対策への効果について伺う。(2)客引き行為や繁華街の環境浄化に向けた県との連携状況について伺う。



A (1)大工町周辺に4台設置し、客引きと疑われる行為の検知及び注意喚起音声の発報を3月下旬から開始した。開始1か月後の客引きと疑われる行為件数を比較したところ、半分以上に減少したが、最近では徐々に戻りつつあるとの話を地域から伺っている。引き続きAーカメラの更なる活用に取り組む。(2)昨年7月に県知事及び県警察本部長宛てに、違法客引き等の対処に関する要望書を提出した。水戸警察署では、大工町交番を中心にパトロールを強化する方針が打ち出されており、県及び警察と更なる連携を図る。



設置されたAIカメラ

その他の質問

- 水戸まちなかフェスの開催日の在り方は
- 下入野健康増進センターについて
- ・ 住民と住民以外で異なる料金設定の導入を

市街化調整区域である那珂川沿岸区域の有効活用を

鬼澤 真寿

Q 当該区域は、那珂川緊急治水プロジェクトによる安全性確保が期待される。この区域を、利益を生み出す土地に変えるため、規制緩和や地区計画の導入を提案する。見解を伺う。



A 令和6年度の地域別意見交換では、市街化調整区域である郊外部の方々から、住み慣れた地域で暮らし続けるため、土地利用の規制緩和を求める声が多く寄せられた。新たな都市計画マスタープランでは、郊外の既存集落について、地域コミュニティの維持を基本的な考え方として、各地域の特性に応じて地区計画等の都市計画制度の活用を検討することを位置付けた。那珂川沿岸区域も含め、課題を抱える地域において、幅広い世代と協議を進め、市民と一体となった協働によるまちづくりを進める。



国田大橋から臨む那珂川

その他の質問

- 備前堀及び伊奈備前守忠次公の功績を活用した歴史まちづくりを
- 百樹園及び市植物公園の観光資源化と集客力向上は



歩道や信号など整備が進む水戸一中周辺

その他の質問

- 再来年を見据えた黄門まつりリブランディングの協議は
- 大洗海上花火大会の大規模渋滞緩和に向けた協力策は
- STEAM教育(探求学習)の施設整備と今後の展開は

Q (1) 水戸一中東側の道路整備が進んでおり、早期の交互通行での供用が望まれる。残工事の内容と完了時期、学校前の信号機の供用について伺う。(2) 時代の変化や児童数の減少を踏まえ、現状に適さない交通規制の見直しが必要と考える。一中と新荘小を結ぶ道路の規制について、安全かつ現状に合ったルールへ更新すべきであり、見解を伺う。

A (1) 産婦人科付近の交差点改良や、道路照明と交通安全施設の整備があり、令和8年度末の全線供用開始を目指す。全線相互通行となる際に、当該信号機を供用開始予定である。(2) 現状の通学時間帯と規制時間に乖離があると認識している。地域の方々が警察へ働きかける際の助言や支援を行う。今後も警察と連携し、対策を強化する。

水戸一中付近の道路整備の進捗と子どもたちの交通安全対策は



こいずみ
小泉二
康



「カスタマーハラスメント防止条例の制定に向けた提言書」を市長に提出しました



産業消防委員会では、「カスタマーハラスメントを防止する条例の制定を求める陳情」(令和7年8月受付)を、提出者の意見を伺いながら慎重に審査しました。

令和7年12月の本会議で陳情を採択した後も、水戸商工会議所及び連合茨城との意見交換を実施するなど、カスタマーハラスメントへの市内事業者の対応状況等の把握に努めながら、条例の制定に当たり留意すべき事項を取りまとめ、市長に提言書として提出しました。

【提言書の主な内容】

- 1 市民、事業者、市が、それぞれの役割と責務を共有できるよう、**条例の早期制定**が望まれる。
- 2 市は、市民の関心と理解を深めるため、**啓発活動の強化**に不断に取り組むとともに、必要な財政上の措置を講じること。
- 3 市は、当該行為への対策等に係る**情報収集を強化**するとともに、**有用な情報を提供**するなど、事業者の取組の支援に努めること。
- 4 市は、各種対策が効果的に実施されるよう、**労働者団体や事業者団体等との連携及び協力**を図るために必要な施策を講じること。



5月に実施した意見交換の様子



正副議長及び正副委員長から高橋市長に提言書を提出

議会の業務継続計画(BCP)策定に係る研修会を開催しました

5月20日に外部講師による研修会を開催しました。

本市議会では、大規模災害や感染症のまん延などの緊急事態が発生した際、議会機能を停止することなく、市災害対策本部への協力や復旧・復興に向けた迅速な意思決定を行えるよう、現在、行動指針や対応手順を定める計画の策定に取り組んでいます。



研修会の様子

皆様に「伝わる」議会報をつくるために



戸田市議会の広報委員の方々が全員で迎えてくれました

議会報で取り上げてほしい項目等がありましたら、編集委員会まで気軽にお問合せください。
(お問合せ先は左をご参照ください)

4月20、21日の2日間で、呉市議会と戸田市議会を視察しました。呉市は、中核市の議会報コンクールで最優秀賞を受賞しており、戸田市は、編集方針を作成して市民目線に立った紙面づくりを進めています。

視察で学んだことを踏まえ、市民の皆様からより身近に感じられる「水戸市議会報」を目指します。



TEAM Gikai KURE



とだ議会だより

傍聴のご案内



本会議や委員会等の傍聴をご希望の方は、下記を参考にお越しください。

本会議傍聴の紹介動画をHPに掲載しています。
上記二次元コードからご覧ください。

会議名	本会議	議会運営委員会、常任委員会等	特別委員会等
定員	104名 (うち車椅子利用の方は4名)	5名	10名
受付場所	8階(傍聴席入口)	7階(議会事務局)	
手続き	・当日、先着順 ・傍聴券に住所、氏名を記入	・開議予定時刻の40分前～10分前までに受付 (定員を超えたときは抽選) ・委員会傍聴申請書に住所、氏名を記入	

○児童・乳幼児を同伴して傍聴できます

お子様連れの方も傍聴することが可能です。
また、本会議傍聴者向けの託児サービスもあります(※要予約)。ぜひご利用ください。



9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
9/6	7 本会議 (提案理由説明) 議案説明会 決算特別委員会 公営企業会計決算 特別委員会	8	9	10	11	12
13	14 本会議 (代表質問)	15 本会議 (議案質疑) (一般質問)	16 本会議 (一般質問)	17 常任委員会	18 常任委員会	19
20	21	22	23	24 決算特別委員会 公営企業会計決算 特別委員会	25 決算特別委員会 公営企業会計決算 特別委員会	26
27	28 決算特別委員会 公営企業会計決算 特別委員会	29 議会運営 委員会	30 議会運営 委員会 全員協議会 本会議 (議了)	10/1	2	3

※9月8～13、19～23、26、27、29日は議案調査

